

I. 広東省

1 今年9月に広州—東莞—深セン都市間鉄道が開通

●7月4日、広州日報の記者が知りえたところによれば、広州—東莞—深センを結ぶ都市間鉄道が9月30日に開通し、一部区間で営業運転する。まずは広州の地下鉄13号線の新塘駅から深セン宝安国際空港までの区間で営業を開始する（7月3日付「広州日報」13面）。

2 広東省政府が広東・香港・マカオビッグベイエリアの実施意見と行動計画を公布

●このほど、広東省政府は、「広東・香港・マカオビッグベイエリア（以下、大湾区）の実施意見」と3年（2018～2020）行動計画を公布した。実施意見は、重大意義及び全体要求、重点作業任務、保障措置の3分野から成り、長期的発展に主眼を置き、大湾区建設に関する2035年の目標を達成させるために、広東省の今後10年余りの主要な方針を示した。3年行動計画は9分野100項目から成り、主な分野は、国際科学技術イノベーションセンターの建設、現代的な基礎インフラシステムの構築、国際競争力ある現代産業システムの共同構築など（7月5日付「南方日報」1面、9面）。

II. 広州市

1 反腐敗にかかる処分

●広東省紀律検査委員会・監察委員会は6月17日、柯珠軍・広州市政協副主席を重大な規律違反の疑いで調査中であると伝えた（7月1日付「広州日報（廉潔広州導報）」1面）。

III. 深セン市

1 王偉中・深セン市党委書記と陳如桂・深セン市長がグアンエン・マレーシア財務相と会見

●7月4日、王偉中・深セン市党委書記と陳如桂・深セン市長がグアンエン・マレーシア財務相と会見した。王書記は、グアンエン財務相一行に歓迎の意を示し、深セン市の経済・社会発展状況を紹介した。王書記は、経済、スマート都市建設、文化、観光等の領域で協力し、深セン市とマレーシアの実務的な協力関係を築きたいと述べた。グアンエン財務相は、マレーシアは広東省、深セ

ンとの更なる円滑な協力システムを築き、投資家に便利なサービスを提供し、絶え間なく協力関係を高めていきたいと述べた（7月5日付「深セン特区報」1面）。

2 深セン市のナンバープレートが大幅に値下がり

●7月5日、深セン市で発給拡大後最初の自動車ナンバープレートの競売が行われ、個人用ナンバープレートの最低取引成約価格は24,200円で先月の60,100元に比べ35,900元下落した。平均取引成約価格は31,959円で、先月の69,873元に比べ37,914元下落した。業務用ナンバープレートの最低取引成約価格は10,000元、平均取引成約価格は27,416元だった（7月6日付「深セン特区報」1面、2面）。

IV. 福建省

1 福建省で初の30年債券を発行

●福建省财政厅によれば、同省は6月20日までに179.87億元の地方政府債券を発行し、そのうち、67.87億元は初の30年を超える一般債券だった。112億元は15年の専項債券で、有料道路の建設に充てられる（7月1日付「福建日報」1面）。

V. 広西チワン族自治区

特になし。

VI. 海南省

1 馮忠華氏を海南省副省長に任命

●6月30日、海南省第6期人民代表大会第12回会議が開催され、馮忠華氏を海南省副省長に任命した（7月1日付「海南日報」2面）。

（当館注）海南日報によれば、馮忠華氏は1970年生まれ。遼寧省丹東出身。全人代農業・農村委員会委員を経て就任。

2 2019世界新エネルギー車大会が開催

●7月1日、中国科学技術協会と海南省人民政府の共同主催で「2019世界新エネルギー車大会（WNEVC）」が海南省ボアオで開催された。10余りの国と地域の政府部門、国際機関、国内外の100社余りの新エネルギー車企業と関連する企業から1,500人を超えるゲストが集まった。同大会は3日間行われる（7月2日付「海南日報」1面）。

(了)